

産地生産盤パワーアップ事業
都道府県事業評価報告書（収益性向上対策）

1 成果目標

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状												目標												実績												スマート農業推進枠 導入・定着の取組の実施内容	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
						現状			目標			実績			現状			目標			実績																										
						年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位																								
ひろさき農業総合支援協議会	2-06-4	前坂共同防除地区	果樹(りんご)	スピードスプレヤーのリース導入による共同防除体制の構築により、労働力の確保・調整を図る。	生産コストの10%以上の削減(10.0%削減)	H27	321千円/10a	8.6 ha	-	-	H30	288千円/10a	11.2 ha	-	-	R2	408千円/10a	13.7 ha	-	-			0.0%	資材費等の経費削減にも努める必要がある。	最新のスピードスプレヤーの導入により散布効率が向上し、適期散布が可能となったものの、成果目標の達成に至らなかった。 要因は、近年多発する黒星病対策に伴う薬剤費の増加や規模拡大に伴う人件費の増加により、コスト削減ができなかったことによる。 今後は、成果目標の達成に向けて、削減可能なコストの見直しや効率的な病害虫防除の対策を実施するよう指導する。	R1評価済み R2評価済み R3再評価																					
ひろさき農業総合支援協議会	2-06-5	糠埜・創生共同防除地区	果樹(りんご)	スピードスプレヤーのリース導入による共同防除体制の構築により、労働力の確保・調整を図る。	生産コストの10%以上の削減(10.0%削減)	H27	323千円/10a	11.1 ha	-	-	H30	290千円/10a	14.5 ha	-	-	R2	403千円/10a	10.6 ha	-	-			0.0%	目標達成に向けて組合員全員が地域内の農地取得に努めるほか、経費削減意識をしっかりと持ちながら、経営の最適化を図る必要がある。	最新のスピードスプレヤーの導入により散布効率が向上し、適期散布が可能となったものの、成果目標の達成に至らなかった。 要因は、近年多発する黒星病対策に伴う薬剤費の増加により、コスト削減ができなかったことによる。 今後は、成果目標の達成に向けて、削減可能なコストの見直しや効率的な病害虫防除の対策を実施するよう指導を徹底する。また、取組目標が面積に達していないことから、地域内の農地取得等により面積を拡大するよう指導する。	R1評価済み R2評価済み R3再評価																					
ひろさき農業総合支援協議会	2-06-7	下湯口地区	果樹(りんご)	スピードスプレヤーのリース導入による共同防除体制の強化により、労働力の確保・調整を図る。	生産コストの10%以上の削減(10.8%削減)	H28	278,644円/10a	103.4 ha	-	-	R1	248,562円/10a	103.4 ha	-	-	R2	320,948円/10a	100.4 ha	-	-			0.0%	地域内の農地取得に努めるほか、黒星病の対策のため薬剤のコスト削減は難しいが、資材費等のコストの削減を組合員一体となって目標達成に向けて経営の最適化を図る必要がある。	最新のスピードスプレヤーの導入により散布効率が向上し、適期散布が可能となったものの、成果目標の達成に至らなかった。 要因は、近年多発する黒星病対策に伴う薬剤費の増加により、コスト削減ができなかったことによる。 今後は、成果目標の達成に向けて、削減可能なコストの見直しや効率的な病害虫防除の対策を実施するよう指導を徹底する。また、取組目標が面積に達していないことから、地域内の農地取得等により面積を拡大するよう指導する。	R2評価済み R3再評価																					
つがる市地域農業再生協議会	1-21-1	つがる市つがるにきた超低コスト稲作実施地区	水稲(直播)	高性能な直播田植機等の導入により、取組面積を拡大して10a当たりの生産コストの10%以上の削減を実現する。	生産コストの10%以上の削減(10.6%削減)	H27	95,833円/10a	18.0 ha	-	-	H30	85,717円/10a	119.0 ha	-	-	R2	85,707円/10a	17.7 ha	-	-			100.0%	平成29年度から年2~3回、取組主体に対し潜水直播栽培の優位性と栽培上のポイント等の指導を行ってきた。また、本指導時には、併せて直播栽培の生産コストの把握方法を指導し、生産コスト削減を阻害する要因の洗い出しも行った。 その結果、令和2年度に目標を達成した。 達成した要因を解析した結果、労務費及び労働費の削減が大きく、減価償却費は従来として目標を上回っていることが判明した。また、取組面積は、目標を満たしていなかった。 これらのことから、今後は、生産コストの削減のため、新規の資本設備の抑制と潜水直播栽培の優位性を生かした取組面積の拡大を引き続き指導していくこととする。	高性能な直播田植機等の導入により生産コストが削減され、成果目標を達成することができた。 要因は、機械導入により労務費の削減が大きいことによる。 今後は、労務費が継続して削減されるよう、より一層の栽培技術向上に向けて指導する。	R1評価済み R2評価済み R3再評価																					
東北町地域担い手育成総合支援協議会	1-33-1	長久保地区	露地野菜(ながいも、だいこん、ごぼう、にんじん、きゃべつ)	高性能機械の導入による作業効率の向上、規模拡大に伴う中心的経営体への集積、栽培マニュアルに基づく施肥管理の徹底を推進することにより、生産コストの削減を図る。	生産コストの10%以上の削減(10.8%削減)	H27	549,802円/10a	合計58.0 ながいも20.3 ごぼう10.3 大根8.8 にんじん0.5 にんにく17.7 きゃべつ0.4	-	-	R2	490,682円/10a	合計66.1 ながいも23.1 ごぼう9.3 大根11.8 大根9.0 にんじん0.8 にんにく0.5 にんにく22.9 19.3 きゃべつ2.4	-	-	R2	399,052円/10a	合計68.7 ながいも27.1 ごぼう9.3 大根5.4 大根0 にんじん0.8 にんにく17.9 きゃべつ0.6	-	-			100.0%	【現状】主要作物の技術・経営指標(平成27年9月青森県農林水産部)により生産コストを算出。 【評価】農業者の確定申告書及び作業日誌から、農業経営、作業時間からの人件費を算出したのち耕作面積で割り10a当たりの生産コストを算出し検証する。	輪作体系の取組みにより一部品目での目標面積は下回っているものの、産地全体の作付面積は目標値を上回っている。 また、取組主体ごとにも全員が目標を達成できており、取組の効果が表れていると評価できる。 産地全体でのコスト削減目標も達成できており、高性能機械導入により耕作面積で割り10a当たりの生産コストの削減効果もあらわれていると評価できる。	高性能な農作業機械の導入により生産コストが削減され、成果目標を達成することができた。 要因は、機械導入により産地全体の作付面積が目標値を上回り、労務費等のコストも削減したことによる。 今後は、事業効果が継続して産地が維持されるよう、より一層の栽培技術向上に向けて指導する。	R3評価																				
東北町地域担い手育成総合支援協議会	1-33-2	外・内蛇沢地区	露地野菜(ながいも、ごぼう、にんじん、きゃべつ)	高性能機械の導入による作業効率の向上、規模拡大に伴う中心的経営体への集積、栽培マニュアルに基づく施肥管理の徹底を推進することにより、生産コストの削減を図る。	生産コストの10%以上の削減(10.5%削減)	H27	460,018円/10a	合計38.8 ながいも17.4 ごぼう5.5 大根2.9 にんじん0.5 にんにく11.5 きゃべつ1.0	-	-	R2	411,808円/10a	合計46.1 ながいも20.1 ごぼう7.1 大根3.5 にんじん1.0 にんにく12.9 17.9 きゃべつ1.5	-	-	R2	390,679円/10a	合計50.1 ながいも24.2 ごぼう4.9 大根0 にんじん1.3 にんにく17.9 12.9 きゃべつ1.8	-	-			100.0%	【現状】主要作物の技術・経営指標(平成27年9月青森県農林水産部)により生産コストを算出。 【評価】農業者の確定申告書及び作業日誌から、農業経営、作業時間からの人件費を算出したのち耕作面積で割り10a当たりの生産コストを算出し検証する。	輪作体系の取組みにより一部作物が他の作物へと置き換わるところもみられるが、産地全体の目標面積は達成されておりコスト削減目標も産地全体で達成されており非常に成果がみられる。 取組主体ごとにも、一部で面積拡大目標を達成できなかったものがあるがそれ以外は目標達成している。 達成できなかったものは今後当該等生産の再確認と導入機械の効率の向上方法等を再検討しつつ今後目標達成に向けてフォローしていく。	高性能な農作業機械の導入により生産コストが削減され、成果目標を達成することができた。 要因は、機械導入により産地全体の作付面積が目標値を上回り、労務費等のコストも削減したことによる。 今後は、事業効果が継続して産地が維持されるよう、より一層の栽培技術向上に向けて指導する。	R3評価																				
東北町地域担い手育成総合支援協議会	1-33-4	虫神地区	露地野菜(ながいも、ごぼう、にんじん、にんにく)	高性能機械の導入による作業効率の向上、規模拡大に伴う中心的経営体への集積、栽培マニュアルに基づく施肥管理の徹底を推進することにより、生産コストの削減を図る。	生産コストの10%以上の削減(10.8%削減)	H27	507,871円/10a	合計46.1 ながいも11.9 ごぼう16.4 にんじん10.9 にんにく6.9	-	-	R2	452,881円/10a	合計51.3 ながいも13.5 ごぼう16.9 にんじん10.9 にんにく8.1	-	-	R2	324,793円/10a	合計50.9 ながいも14.0 ごぼう17.3 にんじん12.8 にんにく6.9	-	-			100.0%	【現状】主要作物の技術・経営指標(平成27年9月青森県農林水産部)により生産コストを算出。 【評価】農業者の確定申告書及び作業日誌から、農業経営、作業時間からの人件費を算出したのち耕作面積で割り10a当たりの生産コストを算出し検証する。	産地全体の面積拡大目標は徐々に大幅にあるものの達成できていない。今後取組主体と面談等を通じ面積拡大を進めていく。 コスト削減目標については、高性能機械導入により大幅なコスト削減となり目標達成できている。今後も同様に取組みを継続していただきたい。	高性能な農作業機械の導入により生産コストが削減され、成果目標を達成することができた。 要因は、機械導入により労務費等のコストが大幅に削減されたことによる。 今後は、より一層のコスト削減に努めるとともに、目標とする産地全体の作付面積を達成するよう、中間管理機械等の活用や雇員等からの産地集積など面積拡大に向けて指導する。	R3評価																				

六ヶ所村農業再生協議会	1-34-1	六ヶ所村地区	露地野菜(長手、ごぼう、大根、にんじん、たまねぎ)	高性能機械の導入による作業効率の向上と農地の集約、栽培マニュアルに基づく施設管理の徹底により栽培コストの生産を図る。	生産コストの10%以上の削減(11.1%削減)	H27	309,263円/10a	765.9 ha	—	—	R2	275,064円/10a	851.7 ha	—	—	R2	254,238円/10a	930.0 ha	—	—	100.0%	農業者の青色申告決算書等から所得を算出し検証する。	機械導入による作業効率の向上と農地の集約により目標を達成した。	R3評価 高性能な作業機械の導入により生産コストが低減され、成果目標を達成することができた。 要因は、機械導入により作業効率が向上して労働コストの削減が図られたほか、施設管理の徹底により栽培コストが低減したことによる。 今後も、事業効果が継続して産地が維持されるよう栽培技術等について指導する。 なお、目標未達成者は、H31年のごぼうの価格低下によりR2の作付を中止したので、目標達成に向け、輪作や作付品目の構成等について指導していく。
-------------	--------	--------	---------------------------	--	-------------------------	-----	--------------	----------	---	---	----	--------------	----------	---	---	----	--------------	----------	---	---	--------	---------------------------	---------------------------------	--

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標																スマート農業推進枠 導入・定着の取組の実施内容	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考				
					現状				目標				実績				年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)		生産コスト	年度								面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト
					年度	面積	生産量又は出荷量	生産コスト	年度	面積	生産量又は出荷量	生産コスト	年度	面積	生産量又は出荷量	生産コスト																		
青森市地域農業再生協議会	1-01-1	ミニトマト部会青森支部地区	施設野菜(ミニトマト)	ミニトマトの品質向上及び収量増加の取組により販売額の増加を図るため、2段換気資材、養液土耕栽培システムを導入し、パイプハウスを新設し、産地全体で初夏摘房及び葉面散布の徹底を実施する。	販売額の10%以上の増加(10.0%増加)	H28	3,140,975円/10a	1,995 ha	91,127 kg	687.6 円/kg	—	R2	3,455,197円/10a	2,163 ha	108,685 kg	687.6 円/kg	—	R2	3,376,818円/10a	2,224 ha	127,951 kg	591.1 円/kg	—	697 円/kg	669 円/kg	1.042	3,518,645円/10a	100.0%	産地の取組が着実に実施されたことにより、販売額が10%以上増加し、目標を達成した。 引き続き、市や農協等の関係機関と連携し、生産支援等を行っていく。 要因は、産地全体で成果目標の達成に向けた上述の取組を計画的に実施してきたことによる。 今後も、事業効果が継続して産地が維持されるよう講習会や巡回巡回を通して栽培技術を指導する。 なお、目標未達成者は、労働力不足により出荷形態を変更したことから、労働力確保に向けた取組を進めるなど、販売額向上に向けた支援等を進めていく。	R3評価				
ひろさき農業総合支援協議会	1-06-6	相馬地区	トマト(露地栽培)	トラクターや各種アタッチメントの導入により作業効率を向上させ、加工用トマトへの生産用トマトへの転換を可能にするなど、面積の拡大による出荷量の確保を行い販売額の増加を図る。	販売額の10%以上の増加(13.9%増加)	H27	72,864円/10a	5.4 ha	—	—	—	H30	83,000円/10a	20.0 ha	—	—	—	R2	286,574円/10a	0.03 ha	342.86 kg	250.75 円/kg	—	288 円/kg	331 円/kg	0.870	249,319円/10a	100.0%	農地中間管理事業を活用する等、地区内の農地の取得に努めるほか、産地独立に向けて計画的に取り組んでいく。 要因は、農地中間管理事業への申込など農地取得に向けた取組を実施しているものの、地域内で栽培に適した農地を取得できなかったことによる。 今後は、栽培面積の拡大に向け、引き続き農地中間管理事業を活用し、産地に適する農地を取得するよう関係機関一体となって指導する。	R1評価済み R2評価済み R3再評価				
ひろさき農業総合支援協議会	1-06-8	藤代・船沢・栗沢地区	大豆	小麦から大豆への転換による作付拡大を行い、高品質な大豆の適期収穫を図るため、高性能な普通型コンバインを導入する。	販売額の10%以上の増加(19.9%増加)	H29	13,584円/10a(H27)	91.6 ha	117,928 kg	105.5 円/kg	—	R1	16,285円/10a	91.6 ha	127,428 kg	117.1 円/kg	—	R2	7,711円/10a	76.0 ha	85,140 kg	68.8 円/kg	—	8,498 円/kg	11,820 円/kg	0.719	5,544円/10a	0.0%	産地の農家の確定申告データ等により、10a当たりの販売額を算出。 地域内の農地取得に努めるほか、令和3年度に比べ、適切な雑草管理を行うとともに圃場における用排水や明渠等の整備をしっかりと行い、湿害対策に努め、早期目標達成を目指すこと。 今後は、圃場化や排水対策を確実に進め、品質及び収量を確保するよう指導を徹底する。また、目標とする取組面積を満たしていないことから、中間管理機械等の活用により面積拡大を図るよう、関係機関一体となって指導する。	R2評価済み R3再評価				
ひろさき農業総合支援協議会	2-06-1	悪戸・イーエム地区	果樹(りんご)	水冷蔵庫や選果機等の設備を持った集出荷施設等の整備、栽培面積の拡大に向けた効果的な防除・除草作業のため、スピードスプレヤー・兼用草刈機のリース導入	販売額の10%以上の増加(10.0%増加)	H27	620千円/10a	15.1 ha	371,920 kg	251.60 円/kg	—	H30	682千円/10a	42.0 ha	1,290,000 kg	222.05 円/kg	—	R2	365千円/10a	12.6 ha	226,080 kg	203.51 円/kg	—	209 円/kg	213 円/kg	0.981	358,000円/10a	0.0%	全面的な豊作基調の中で、想定していた量を年内で販売することができず、在庫が前年比100%に達してしまい、販売額が落ち込んだ。 集出荷貯蔵施設やスピードスプレヤーを導入したが販売額が伸びず、成果目標の達成には至らなかった。 要因は、市場のりんごが少なくなる産期での高単価販売を目指して貯蔵していたり、この販売不振による。 今後は、りんごの販売力強化を図るため、多品種を栽培している強みを生かし、導入した施設等を活用した高品質なりんごの取組管理及び営業活動による販売額の向上を徹底するよう指導する。また、目標とする取組面積を満たしていないことから、中間管理機械等の活用により面積拡大を図るよう、関係機関一体となって指導する。	R1評価済み R2評価済み R3再評価				
黒石市農業再生協議会	1-07-2	黒石地区	水稲	①良食味新品種「青天の霹靂」の産地形成推進 ②稲良食味米の安定生産に向けた適期作業等の技術確立 ③適期作業の徹底に向けた高性能機械の導入 ④食味向上を目指した乾燥調整施設の導入	販売額の10%以上の増加(10.2%増加)	H27	114,319円/10a	986.0 ha	—	### 円/10a	—	R1	125,976円/10a	986.0 ha	—	125,976 円/10a	—	R2	113,099円/10a	1,061 ha	—	113,099 円/10a	—	まっしぐら 11,582 つがるロマン 11,787 青天の霹靂 13,000	まっしぐら 13,321 つがるロマン 15,057 青天の霹靂 15,600	まっしぐら 0.869 つがるロマン 0.852 青天の霹靂 0.833	96,966円/10a	0.0%	産地の農業者の確定申告データにより10a当たりの販売額を算出。 新型コロナウイルス感染症に伴う需要の減少及び過剰供給が、米価の下落に繋がりがり、販売額が減少したと考えられる。 今後は、きめ細やかな情報提供を行い、需給に応じた作付けを促すことで、良質米の安定生産と米価の安定を図り所得向上に繋げる。 高性能機械や乾燥調整施設を導入したが販売額が伸びず、成果目標の達成には至らなかった。 要因は、新型コロナウイルス感染症に伴う米需要の減少や過剰供給に起因した米価の下落により、販売額が減少したことによる。 今後は、新型コロナウイルス感染症や少子高齢化による需要減少が込まれる中でも米生産による収益を確保できるように、気象条件に応じた適正な肥培管理や水管理、病害虫の防除をはじめ、鶏糞刈取りといった基本技術の徹底を徹底するなど関係機関一体となって指導するとともに、需要に応じた品種構成の見直しを促す。	R2評価済み R3再評価				

(J A 津経 みらい黒石 地区果樹産 地協議会) 黒石市果樹 産地協議会	2-07-1	浅瀬石 地区	果樹 (りんご)	現在 8 ある共同防 除組織を1つの共同 防除組織に集約 し、スピードスプ レーヤーのリース導 入で作業効率が改 善され適期作業が 行われることで、 高品質なりんごの 生産が可能となり 販売額を増加	販売額の10%以 上の増加 (10.0%増加)	H28	652,532円 /10a	113	ha	—	652,532	円 /10 a	—	R1	717,848円 /10a	140.0	ha	—	717,848	円 /10 a	—	R2	622,192円 /10a	123	ha	—	622,192	円 /10 a	—	222	円 /kg	213	円 /kg	1.042	648,324円 /10a	0.0%	産地の農業者 の確定申告デー タにより10a当た りの販売額	8月下旬から9月上旬の猛 暑による日焼け果や腐らん 病の影響により、品質が低 下したことによる販売額の 減少が考えられる。 組合員に対し、引き続き 耕種的防除や薬剤散布の進 行などにより、高品質な なりんごの安定生産が図れ るよう指導する。	最新のスピードスプレ イヤーの導入により散布効 率が向上し、適期散布が可 能となったものの、成果目 標の達成に至らなかった。 要因は、夏期の猛暑による 日焼け果や腐らん病の発生 により品質が低下し、販売 額が低下したことによる。 今後は、成果目標の達成 に向けて、栽培管理の徹底 により天候や病害虫の影響 に左右されない高品質なり んごの安定生産を図ると ともに、病害虫防除対策の 徹底に努めるよう指導す る。	R2評価済み R3再評価			
(J A 津経 みらい黒石 地区果樹産 地協議会) 黒石市果樹 産地協議会	2-07-2	中野田代 平地区	果樹 (りんご)	高性能なスピード スプレーヤーのリース 導入により稼働 台数を削減し、生 産者の労力削減と 作業効率が改善さ れ適期作業が行わ れることで、高品 質なりんごの生産 が可能となり販売 額を増加。	販売額の10%以 上の増加 (10.0%増加)	H27	387,588円 /10a	11.0	ha	—	42,634,686	円	—	H30	426,500円 /10a	16.0	ha	—	68,240,000	円	—	R2	366,149円 /10a	17	ha	—	60,707,540	円	—	209	円 /kg	213	円 /kg	0.981	359,192円 /10a	0.0%	産地の農業者 の確定申告デー タにより10a当た りの販売額を算 出	8月下旬から9月上旬の猛 暑による日焼け果や腐らん 病の影響により、品質が低 下したことによる販売額の 減少が考えられる。 組合員に対し、引き続き 耕種的防除や薬剤散布の進 行などにより、高品質な なりんごの安定生産が図れ るよう指導する。	最新のスピードスプレ イヤーの導入により散布効 率が向上し、適期散布が可 能となったものの、成果目 標の達成に至らなかった。 要因は、夏期の猛暑による 日焼け果や腐らん病の発生 により品質が低下し、販売 額が低下したことによる。 今後は、成果目標の達成 に向けて、栽培管理の徹底 により天候や病害虫の影響 に左右されない高品質なり んごの安定生産を図ると ともに、病害虫防除対策の 徹底に努めるよう指導す る。	R1評価済み R2評価済み R3再評価			
三戸町農業 再生協議会	1-14-4	猿辺	にんにく	兼用にんにく植付 機の導入により水 箱からにんにくへ の作付転換と、省 力化に伴うきめ細 やかな栽培管理の 徹底による販売額 の増加	販売額の10%以 上の増加 (10.3%増加)	H28	1,006,200円 /10a	1.0	ha	3,600	kg	1,450	円 /kg	—	H30	1,110,182円 /10a	1.1	ha	4,900	kg	1,450	円 /kg	—	R2	482,922円 /10a	0.8	ha	3,341	kg	1,156	円 /kg	—	1,491円	kg	1,479	kg	1.008	486,785円 /10a	0.0%	出荷データ及 び帳簿等により 10a当たりの販売 額を算出	土壌病害が発生したこ とにより、作付面積の減少 及び品質の低下も見られ た。 今後は、ほ場を更新等の 適切な対策に取り組むこと で、病害のない良品生産 を行い、目標の達成を期 待する。	兼用にんにく植付機 の導入により作業効率は 向上したが、成果目標の 達成には至らなかった。 要因は、土壌病害が発生 した影響で作付面積が少 な上、品質が低下して販 売単価が下がったことよ り販売額が大幅に減少 したためによる。 今後は、成果目標の達成 に向けて、栽培管理の徹 底により天候や病害虫の 影響に左右されない良品 生産ができるよう関係 機関一体となって対策 を指導する。	R1評価済み R2評価済み R3再評価
五所川原市 農業再生協 議会	1-20-1	金木町高 瀬地区	大豆	大豆の高品質安定 生産及び栽培面積 拡大に向けた種 機、汎用コンバ イン、乾燥調整機 等の導入により販 売金額の10%以上 の増加を実現す る。	販売額の10%以 上の増加 (10.0%増加)	H27	16,510円 /10a	118.0	ha	252,540	kg	4,629	円 /60 kg	—	H30	18,161円 /10a	154.0	ha	350,400	kg	4,789	円 /60 kg	—	R2	11,174円 /10a	108	ha	163,770	kg	4,436	円 /60 kg	—	9,043	円 /60 kg	11,820	円 /60 kg	0.765	8,577円 /10a	0.0%	取組主体にお ける大豆の 精算等及び取 引先の検査格 付結果通知から10a 当たりの販売金 額を算出する。	は種後の大雨による発 芽不良に加え、高温による 株の枯死が発生したため、 収量及び品質が大きく低 下し、目標達成には至ら なかった。 今後は、種後の大雨や高 温等の気象影響を受けて 生育が不安定となり、収 量・品質が大きく低下し たことによる。重点的に ①大豆の作付面積増加の ための作業委託面積増加 とほ場の一層の団地化の 推進②近年の気象変動に 対応する作業体系の見直 し③販売金額向上のため の従来出荷先以外の契 約栽培先の開拓と確保 を積極的に行っていく。	R1評価済み R2評価済み R3再評価	
つがる市地 域農業再生 協議会	1-21-2	つがる市 こしよつ がる農協 ねぎ部会 地区	野菜 (ねぎ)	ねぎ収穫機とねぎ 反刺機の導入によ り、収穫時間及び 調整時間を短縮し 、作付面積の拡大 やきめ細かな栽培 管理が可能となり 販売額を増加	販売額の10%以 上の増加 (10.0%増加)	H27	730,975円 /10a	11.5	ha	312,570	kg	269	円 /kg	—	H30	804,357円 /10a	11.5	ha	323,150	kg	286	円 /kg	—	R2	709,258円 /10a	12.3	ha	294,330	kg	296	円 /kg	—	291	kg	323	kg	0.901	639,041円 /10a	0.0%	J A 出荷伝票 により10a当たり 販売金額を算出 する。	8月～9月の高温によ り、作付面積を拡大す ることができたが、成 果目標の達成には至 らなかった。 要因は、種後の大雨 や夏期の高温による 萎凋病や軟腐病の発 生による。今後は、 栽培技術の向上に 係る指導を強化し、 目標の達成を目指す。	ねぎ収穫機等の導入 により作付面積を拡大 することができた。 今後は、高品質で安 定生産体制を継続し ていく。	R1評価済み R2評価済み R3再評価
つがる市地 域農業再生 協議会	1-21-3	つがるに した農 協つがる 野菜部会 ねぎ部会 地区	野菜 (ねぎ)	ねぎ移植機、収穫 機、根切り・葉切 り・皮剥き機、選 別機の導入により 、収穫時間及び調 整時間を短縮し、 作付面積の拡大や きめ細かな栽培管 理が可能となり、 販売金額の増加を 実現する。	販売額の10%以 上の増加 (347.2%増加)	H28	100,642円 /10a	22.4	ha	487,776	kg	264	円 /kg	—	R2	450,100円 /10a	22.4	ha	490,000	kg	266	円 /kg	—	R2	583,335円 /10a	28.26	ha	578,183	kg	285	円	—	308	円 /kg	323	円 /kg	0.954	556,502円 /10a	100.0%	産地における 出荷伝票により10a 当たり販売金額を 算出する。	機械の導入により面積 拡大やきめ細かな栽培 管理が可能となり目標 達成することができた。 今後は、高品質で安 定生産体制を継続し ていく。	R3評価	
つがる市地 域農業再生 協議会	2-21-1	森田町東 共同防除 地区	果樹 (りんご)	高性能なスピード スプレーヤーの導 入により取組面積 の拡大を図ると ともにトリス導入 により品質向上を 図り、販売金額の 10%以上の増加を 実現する。	販売額の10%以 上の増加 (10.2%増加)	H27	299,966円 /10a	65.0	ha	1,227	kg /10 a	244.5	円 /10 a	—	H30	330,417円 /10a	75.0	ha	1,349	kg /10 a	244.9	円 /10 a	—	R2	390,784円 /10a	66.23	ha	1,943.2	kg /10 a	201.1	円 /10 a	—	209	円	213	円	0.981	383,359円 /10a	100.0%	産地における 農協等出荷者の 販売額をもとに 10a当たりの販売 金額を算出する。	高品質な果実が生産さ れ、目標を大幅に上回 る成果となった。 また、価格補正後の 実績でも目標を達成 したことから、耕種 的防除の支援を継続 する。	最新のスピードスプレ イヤーの導入により販 売額が増加し、成果目 標を達成することが できた。 今後は、高性能機 械の導入により適期 防除が可能となり、 高品質なりんごの 安定生産を実現す る。	R1評価済み R2評価済み R3再評価

東北町地域 担い手育成 総合支援協 議会	1-33-8	滝沢平地区	露地野菜 (ながいこ も、だいこ ん、ごぼ う、にんに く、キャベ ツ、たまね ぎ)	高性能機械の導入 による作業効率の 向上、規模拡大に 伴う中心的经营体 への集積、栽培マ ニュアルに基づく 施肥管理の徹底を 推進することによ り、所得額の1 0%以上の増加を 図る。	所得額の10%以 上の増加 (10.5%増加)	H28	74,188円 /10a	ha	-	-	-	R2	81,973円 /10a	ha	-	-	-	R2	13,207円 /10a	ha	-	-	-	円 /kg	ながいも 317 にんにく 1,745 大根 81 ごぼう 163 キャベツ 68	円 /kg	ながいも 299 にんにく 1,479 大根 90 ごぼう 188 キャベツ 97	円 /kg	ながいも 1,060 にんにく 1,180 大根 0.900 ごぼう 0.867 キャベツ 0.701	92,717円 /10a	100.0%	産地の取組主体による面 積拡大の伸び率は純化傾向 ではあるが、目標値以上の 作付面積となっている。 作業性能の高い機械を使 用することにより過期作業 が図られたことから所得が 向上した。 高性能なトラクターや収穫 機等の導入により所得額が 増加し、成果目標を達成す ることができた。要因は、高 性能機械の導入により作業 効率の向上により過期作業 が図られたことによる。今 後も、事業効果が継続して 産地が維持されるよう指導 する。 なお、面積拡大の目標を達 成できなかった経営体につ いては、農地中間管理機構 及び農業委員会を通した 農地の賃借が積極的に行わ れなかったことが要因と考 えられることから、今後、 農地中間管理機構等を利用 し農地確保を指導するほ か、輪作体系を見直し対 象作目の作付面積を増加さ せるよう指導を行っていく。 また、所得増加目標未達に ついては、R2年の夏期高温 による品質低下等が要因で あるため、品質向上策とコ スト部分の精査による所得 増加を基本に指導を継続す る。	R3評価
東北町地域 担い手育成 総合支援協 議会	1-33-9	中村・五十 嵐地区	露地野菜 (ながいこ も、だいこ ん、ごぼ う、にんに く)	高性能機械の導入 による作業効率の 向上、規模拡大に 伴う中心的经营体 への集積、栽培マ ニュアルに基づく 施肥管理の徹底を 推進することによ り、所得額の1 0%以上の増加を 図る。	所得額の10%以 上の増加 (12.0%増加)	H28	125,878円 /10a	ha	-	-	-	R2	141,012円 /10a	ha	-	-	-	R2	48,062円 /10a	ha	-	-	-	円 /kg	ながいも 317 にんにく 1,745 大根 81 ごぼう 163 キャベツ 68	円 /kg	ながいも 299 にんにく 1,479 大根 90 ごぼう 188 キャベツ 97	円 /kg	ながいも 1,060 にんにく 1,180 大根 0.900 ごぼう 0.867 キャベツ 0.701	163,965円 /10a	100.0%	産地全体の面積拡大目標 に対しては目標を超える作 付面積を確保できている。 作業性能の高い機械を使 用することで、過期作業が 図られたことから、所得が 向上した。 高性能な乗用管理機やブ ームスプレーヤー等の導入 により所得額が増加し、成 果目標を達成することがで きた。要因は、高性能機械 の導入により収穫・防除作 業等の効率の向上し、経 営農地の規模を拡大でき たことによる。今後も、 事業効果が継続して産地 が維持されるよう指導す る。 なお、面積拡大の目標を達 成できなかった経営体につ いては、農地中間管理機構 及び農業委員会を通した 農地の賃借が積極的に行わ れなかったことが要因と考 えられることから、今後、 農地中間管理機構等を利用 し農地確保を指導するほ か、輪作体系を見直し対 象作目の作付面積を増加さ せるよう指導を行っていく。 また、所得増加目標未達に ついては、R2年の夏期高温 による品質低下等が要因で あるため、品質向上策とコ スト部分の精査による所得 増加を基本に指導を継続す る。	R3評価
東北町地域 担い手育成 総合支援協 議会	1-33-10	乙部地区	露地野菜 (ながいこ も、だいこ ん、ごぼ う、キャベ ツ)	高性能機械の導入 による作業効率の 向上、規模拡大に 伴う中心的经营体 への集積、栽培マ ニュアルに基づく 施肥管理の徹底を 推進することによ り、所得額の1 0%以上の増加を 図る。	所得額の10%以 上の増加 (10.2%増加)	H28	75,007円 /10a	ha	-	-	-	R2	82,623円 /10a	ha	-	-	-	R2	32,591円 /10a	ha	-	-	-	円 /kg	ながいも 317 にんにく 1,745 大根 81 ごぼう 163 キャベツ 6	円 /kg	ながいも 299 にんにく 1,479 大根 90 ごぼう 188 キャベツ 97	円 /kg	ながいも 1,060 にんにく 1,180 大根 0.900 ごぼう 0.867 キャベツ 0.701	128,682円 /10a	100.0%	産地の取組主体による面 積拡大の伸び率は十分に あり、高効率機械導入に よって所得向上効果が表 れている。 作業効率の高い機械を使 用することにより、過期 作業が図られたことによ り、所得が向上した。 高性能な収穫機やブーム スプレーヤー等の導入に よって所得額が増加し、 成果目標を達成すること ができた。要因は、高 性能機械の導入により 収穫・防除作業等の効 率の向上し、経営農地 の規模を拡大できたこと による。今後も、事業 効果が継続して産地が 維持されるよう指導す る。 なお、面積拡大の目標を達 成できなかった経営体 については、農地中間 管理機構及び農業委員 会を通した農地の賃借 が積極的に行われなかつ たことが要因と考えら れることから、今後、 農地中間管理機構等 を利用し農地確保を指 導するほか、輪作体系 を見直し対象作目の作 付面積を増加させるよ う指導を行っていく。 また、所得増加目標未 達については、R2年の 夏期高温による品質低 下等が要因であるため 、品質向上策とコスト 部分の精査による所得 増加を基本に指導を 継続する。	R3評価